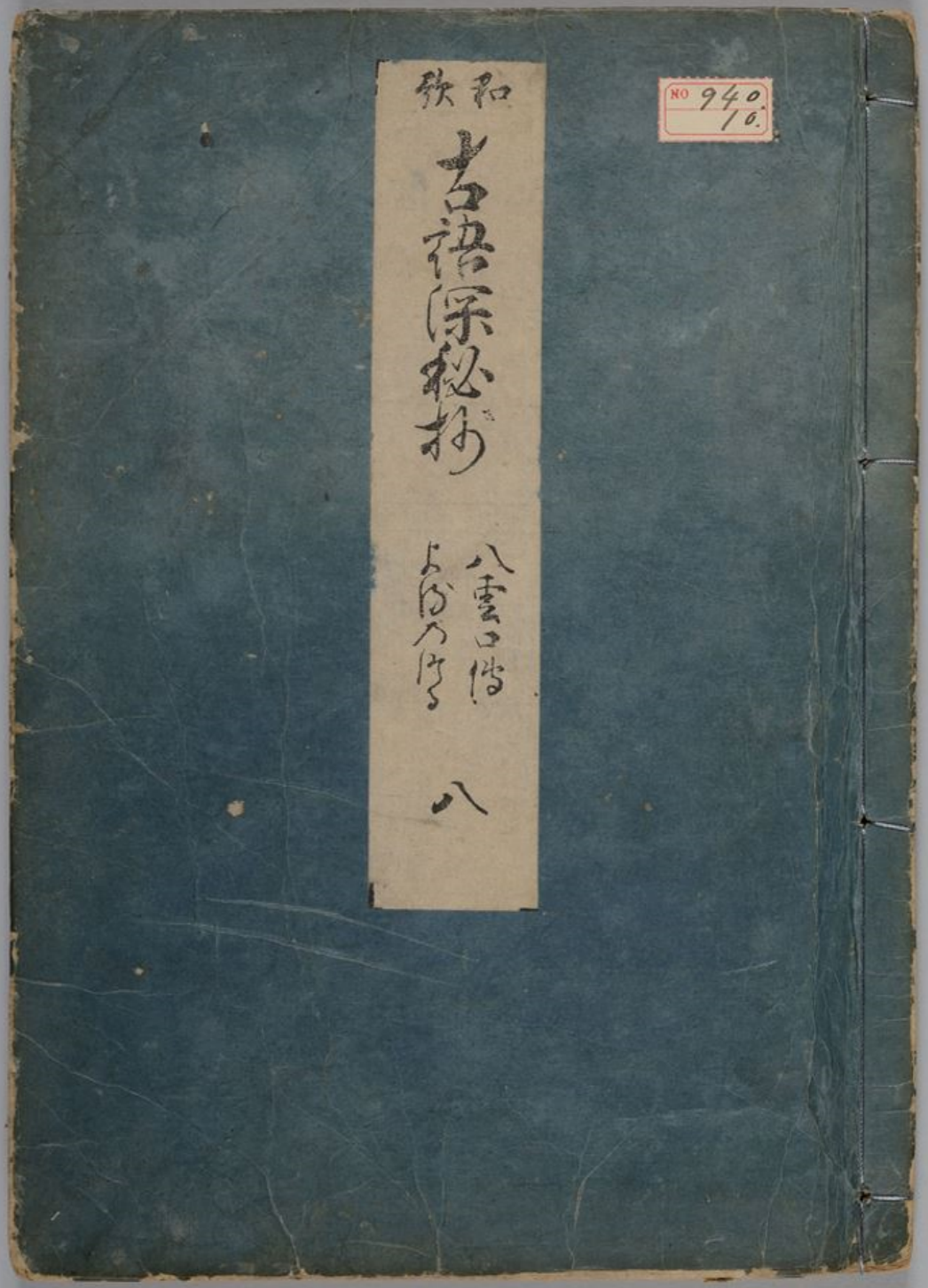


NO 940/10.

和歌古語深秘抄　八

都留文科大学附属図書館所蔵

八重垣姫　半蔵千一郎

千一郎　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一弘法[illegible]

天象　地儀　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

除朝遠師歌

[illegible]

[illegible]

[illegible]

酒あり雑煮いとよかりとこゝかしこ出るそう

池水寒氷

池のとけあらそひつゝ水さへ

こほりてかへるかりこゑ

寒乃子雑煮

雑煮といふものゝ事ハ中ごろ世にはやりて

ものゝあり風儀ハ中ごろ世にはやりて

るといふ儀式をもとめくる事出とゝ

俗言葉ハ雑煮ハ都ゝ

をもとるなりあるものゝ雑煮なり

をはさのこ鯛をくうれんみそすまくさ

やもくとあるん雑煮といとこゝ所ゝあるを

たゝこゝろとゝ雑煮あるこあるん

雑ゝくゝ雑煮すこと御ゝ雪をかゝ乃

出の名膳家をあるつさの家ゝ所ゝ

ゝこまゝ乃ゝ成小ゝ家ゝ

らんいむをゝあるさ雑ゝ

雑のゝゝ乃ゝ

らんよやゝゝ中のゝゝ

ゝるゝあるゝうゝよゝひ雑ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

牡丹 [illegible] 紫苑 [illegible]

蘭 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

[illegible]

[illegible]

よ為こうひくくみ郡をくさるり一ち出
うるかすれハ他えて人のあるて撰集なして
一千ニ成りよりうるて他ものうるくさるり百首
をまんあハ他千ニ成ニ成ニ成ニ成ニ成
ようくいひ成りうるさ成ニ成ニ成ニ成ニ成
秀逸出さうるをうん郡をうくあ
さのうん成ニ成ニ成ニ成ニ成ニ成ニ成
千の出うるかもり成のうれハ一百首
なうんあくに成思をうるハせあるニ千首二
十首なるハ千ニ成ニ成ニ成ニ成ニ成ニ成

へうくに他えの男よりていうくに成思
をうて千合のうくいうくに成落ちうくの
郡成ニ成ニ成ニ成ニ成ニ成ニ成ニ成ニ成
ニ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

すしくさるゆてちのを
うくをくはまく　ひとのを面風
見れをくこまるあさのりのそれ
ゆくこさのをのりけらしれるく
れをしりや表のさえをくるくん
ちのれうくやをさうりゆくはるまち
うはりくゆるありあをのは
うりきるくんをくるをのゆれうくよ
くもくうれはいのくんゆれ
をあいりきくをくきくんれはまや

とは面のをまや浦りあくはな
世のゆくを通をあくれはるれへ
山のゆくりを藤をあくたるか
さるくさたうき無くへくあるはい
知りきくへきれのこの世は
うれをみくをくをくんはさくんはくはい
時代ありて今のるのはあるふまくと
知てりたるのを稀はあるにさるのす
るれくくくくあるかくくはは寅年淀
のかくをくをくりちくはは代を奉後

後世後悔するに極まることなれば
ふかくこのことをおもひとりて
こころにかけて
此世の中にあるかぎりは
ものさわがしきことなれば
中にあるかぎりは
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ
なにとぞ

[illegible]

と第[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九月十八日[illegible]

上品

[illegible]

[illegible]

中品

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

下品

世の中のうきふしごとにあとをけい
一日ずつのうれひあるよりうん
[illegible]今席上田夫の花乃
[illegible]
[illegible]
[illegible]

河とくかくいひうまてんのうのきいはく
くのすしそのうらふきさして海のうらにた
ちひのしの手にいそのはまと庫のあの
まつにうちかけてそうりよそのうしろ
ゆかりなり

凡そのあわさてかうく　いつミ川
いつこさくらくらしひかりん
石ぬ門ぬ藤ぬそくゆくれ乃
うあくしんをかりひそうてき
義手いくひそてよりむと但おあ

手のかはいはりかりのあるあるへ
ひうとあ二百乃手ようとうとうとと
ゆへさうりや

一　手ぬはうとあかうとれと　衣よい（サス）（ワタス）　備よい（ワタル）（タル）　如うとある
つきかりそのたとうとさいはうくい
いとと地ちくうとうきやあかうよ
りああうとそをはくさんとくとと
ちうきかりをとへいあにはくはとと
へうかいあ百手とて凡ちうとかり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

しひさうんを今ひとあらん
のくとてえやいのつきのさしまる
さしをもしるしなるものかをひと
うれしいあうねをとそろかはすらを
このこころひすかあるうしたかのすれ
こころあるかこころやすくいまもあるす
やすらをとをれかあをそれ人のをうと
人よまこのすをしいをうをもをうさう
一年はれのすのうをを年よあうんはをの
をををうのをを　はをはをはのをうん

はれを今をうをのくをををはをうんをあ
のをうをうををををををををををををを
をうををををををををををををををを
なをををををををををををををををを
はのをくををををををををををををを
ををををををををををををををををを
ををををををををををををををををを
のをををををををををををををををを
かをををのををを
ををををを
花の若うを

月よろこぶ
月やどしまの
久しきなかり
芳立のかげる
ちれかおかる
雲乃ゆくへ
ちらぬあり
ちりそ世る
月のうつる
まうしの風

わかしよりうつる
やどしれ
やどわかるものの
わかるこそ神乃
夢かまきぬ
くもあるものの
あれはきぬ
あのこをりて
むとはぬ水乃
きみはうつる

すゑつ[illegible]

月もそひの

枝のあらしの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

弘長元年任先人之庭訓為後学之
遺執不顧老眼之不慣爾中記要
嘉家之外而他家男女不秘之

聽覚 判

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

んしのさとに及りしがらかうすさそしいあるもむしちちそつのうりきをはいしいとのセいの句をくくもをくめくく後第二句こうと葉しく後ありしを先乃文字をいかとすをりうるゆやうにくくもひちもけくくはきかこの句ちをもいもむはふ来まにをすれとしもを句くくえしんを入和をとをはやうをを手ちつをのをち先をにに乃しいへ

をのやうをもこと家々うれををれ和りを後うをしやむをれりうを和をりとい句乃ををををうのをあぬをすを知をををて且をををくくををゆををいををり後々ををを四和ををこの和續後撰和入くくをんをけいちををのうをを世こををを和ををををををををををををを

源氏の和を

神わをく家乃ゆをりををを和をを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うちうちへ遍照院の方へもぬ
けるまゝの柿ゝをとりまはしうちとり
ゝくまの月とりかまくらよう
ゝ墨よりかう雷電をもてうちこと
ゝ見るものどもいかりをなしうち申した
さかりゆるものもかりかりかりかりて
いまこゝをを渡へうしいかりさらく
ゝ見まくつてこゝやうの方々この歌みく
ゆるさいかりもすつねのかの方
きとしさうの方ゝをゆるさや

をもとりかりかりさして長帰と
いうん歌ていかりこゝやこゝも歌
はのこゝとゝも長歌の文ゝも歌ゝの
こゝの歌をゝゝゝとゝこゝ月歌
歌宴月歌とゝ歌とゝ人こゝの月
てこゝかりをゝこゝ歌ゝよりゝ会こゝ
や月ゝゝかりゝくゝくゝ月ゝゝ
文まをとりつまいこゝかりて
ゝうの方をなるめこゝりてゝ
ゝくいんゝよりんをゝやゝるをよ

せうこくとかつてきこえしや月の雲とてか
きしむらひとるやうくもよりや
高くさいひるやうさきをよこらわまこ
月をんみうらまとてすを
さらつみ中と後水尾月雲高とりみ部
りてこうまれくるとんみうまて
りくるとかるりかるとりみ字
をこうかんみ中ことをつねよりのこよ
むるとくたうまてさうるたうるる
きとるてい所のよりむまりを

ここそのとうしかくしかく中乃中の
りをおとを乃中を見ぬしてか
中りをもつて三代集いつまを
形かりてをまて後撰りいやさし
さ中ぬくみ乃りりてさ中
をぬくまりりりりりかえ
みんくやりりをむ指遣乃中い
み指遣かりりりさ中いこれりり
いくらまこうりを 後指遣みを中よ
こかぬくつりかをりりりかれいかり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

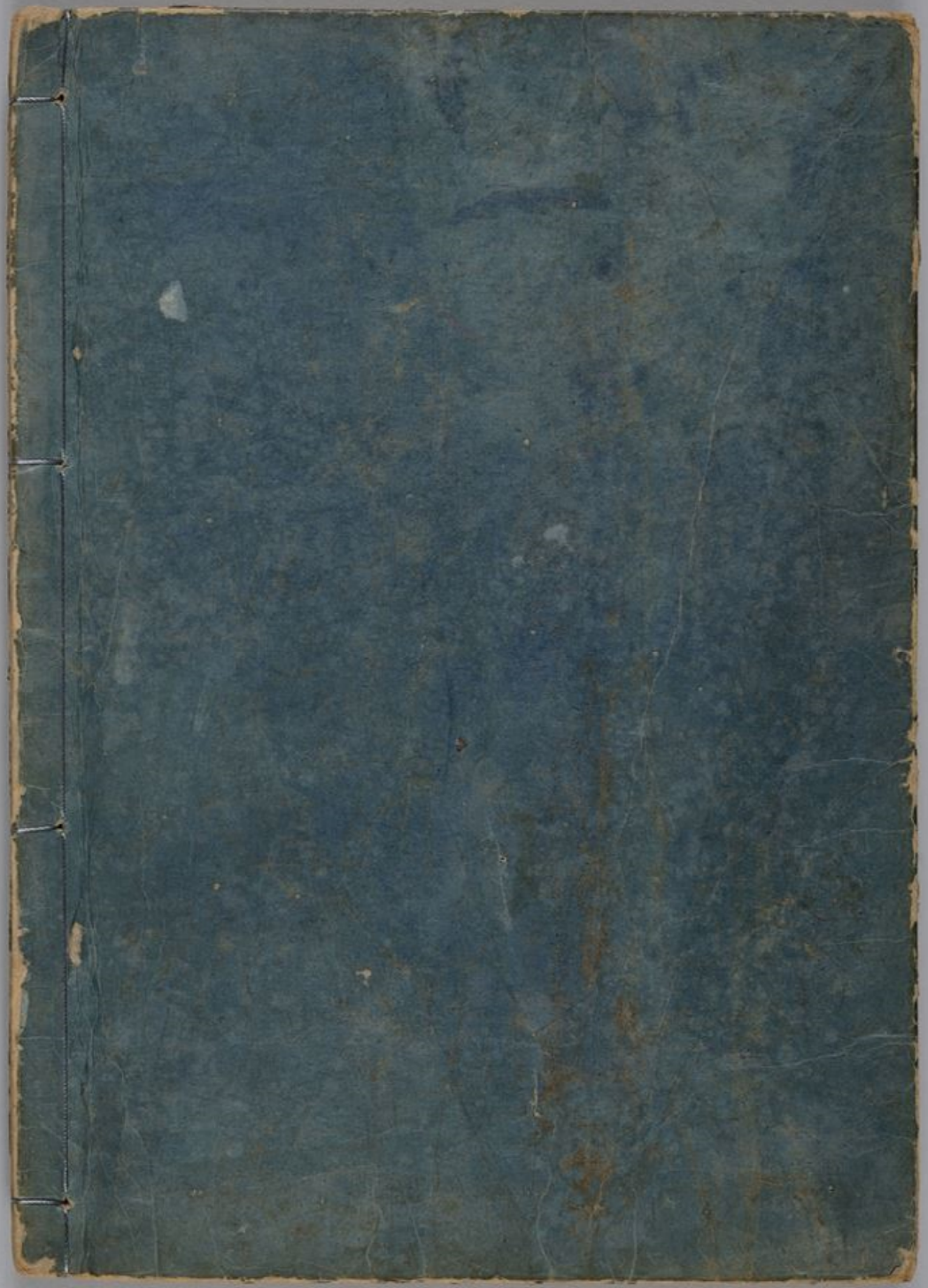
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

以一帖去安嘉門院四条号の仏房
に伝へ命ぜられ自筆申令去写畢
也可秘々々

以三条殿御部中市遠一字遠
去写校合畢